



お心とつるおのり下町川の手をめぐりて

防災まちづくり瓦版

発行「一寺言問を防災のまちにする会」

平成23年3月30日

いちでらことい
一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 青木 隆雄
連絡先/ 墨田区都市整備部都市整備課
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

三月十一日、東北・関東で未曾有の大震災が発生しました。亡くなられた方々、ご遺族と被災者の皆様に、心よりのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地震に続く大津波、そして原子力発電所からの放射能汚染と、新たな災害の広がりに世界が茫然としております。

被災地では瓦礫の除去もままならない今ですが、一方で復興に向けて立ち上がる逞しい人々がいます。

国の内外からの善意好意の輸、私的公的の献身、食糧・医療・燃料援助が続いています。またスポーツや音楽演劇イベントなど物心両面からの激励も広がっています。

余震が収まり、不自由な避難所生活への食糧・医療・日用品などの援助が軌道にのると、人間関係すなわち「コミュニケーション」や「アイバシー」の問題が重要となります。

被災地以外での華美や贅沢にわたるイベント等の自粛、そしてその自粛への批判が生まれ、平常な消費生活や娯楽の希求など、災害後の人々の意識は刻々と変化します。

私たちの一言地区は、度重なる大水害、関東大震災、東京大空襲など数々の災害を体験し、その復興を成し遂げた地区であり、良い意味での被災地の住民の心理変化なども経験した地域であります。

賢い消費行動、冷静な日常生活など、私たちがそのお手本となること、一言地区の先輩たちの築いた歴史への回答でもあります。

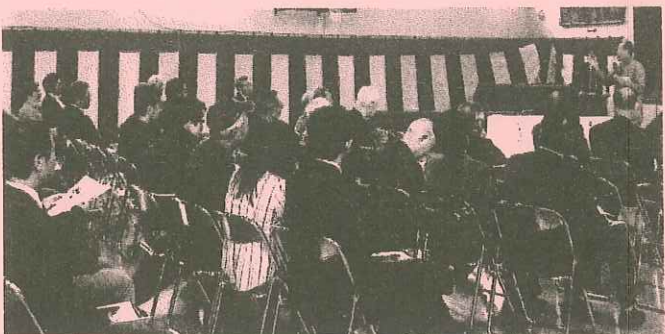
東北・北関東は、濃密な人間関係の地域といわれます。私たち東京の下町は、数多い災害体験を踏まえて、今こそ被災地の皆々への大きな声援・支援を送るべきでありましょう。地域の皆様の賢明なるご協力とご援助とをお願い申し上げます。

一言会会長 青木隆雄

なごやかに交流

記念式典の後、ご来賓やこれまでの活動とともにした皆様と共に懇親会が開催されました。懇親会に先立ち、平成元年に開設された「有季園」のテープカットをした、高野雄貴くん、松村由紀子さんが紹介され、記念品が贈られました。子供連れで参加した当時小学生の「ゆうきちゃん」に歴史を感じた出来事となりました。

また、一言会設立時にご尽力いただいた浅川元部長さんをはじめ、多くの皆様から励ましのお言葉をいただき、思い出話が紹介され、短いひとときでしたが和やかな交流の宴となりました。



今年は一言会が設立されて二十五年に当たることから、これまでの活動を整理したり「防災まちづくり指南書」を皆様に配布す

「防災まちづくり衆会」は、耐震工事の完了した一寺小体育館で開催し、神戸で震災を経験された大阪大学教授の森栗先生から基調講演「地域が担う防災まちづくりのこれから」を伺った後、一言会と同じような防災まちづくり住民団体「杉並区蚕糸の森周辺地区さんし会」、「神戸市長田区駒ヶ林地区まちづくり協議会」の活動報告を伺いました。その後、明治大学教授の山本先生をコーディネーターとして、両団体と一言会、また会場の皆さん方と防災まちづくりについて経験交流・議論を深めました。参加者は、町会の防災担当者や消防団・消防隊の皆さんをはじめ約七十人が集いました。



『一寺言問を防災のまちにする会』(通称「一言会」)
設立二十五年を盛大に祝う

「一寺言問を防災のまちにする会」(通称「一言会」)が設立されたこと、住民によるまちづくり組織「一言会」が設立されました。これまで「瓦版」の発行、雨水利用の防災施設「路地尊」をはじめ、街路やポケットパークの整備など、「災害が起きても逃げ出さなくてもよいまち」

「百年後に残せるまち」を目標に活動を進めてきました。

「防災まちづくり衆会」は、耐震工事の完了した一寺小体育館で開催し、神戸で震災を経験された大阪大学教授の森栗先生から基調講演「地域が担う防災まちづくりのこれから」を伺った後、一言会と同じような防災まちづくり住民団体「杉並区蚕糸の森周辺地区さんし会」、「神戸市長田区駒ヶ林地区まちづくり協議会」の活動報告を伺いました。その後、明治大学教授の山本先生をコーディネーターとして、両団体と一言会、また会場の皆さん方と防災まちづくりについて経験交流・議論を深めました。参加者は、町会の防災担当者や消防団・消防隊の皆さんをはじめ約七十人が集いました。

私がまちづくり
スタッフです。

その46

米本 常則 さん
(東向島一丁目在住)



平成22年4月に東向島一丁目南町会の会長になられた。

昔から代々の地主の家柄で、米本さんのお宅は本家、ご先祖を大切にお祀りしてきた。黒い小さな木箱に収められた木札のご位牌に「延享」という年号が書かれ、江戸中期、おそらく三百年くらい前から、寺島村に住んでいたのだろう。隣近所も親戚で「米本一族」と呼ばれている。

3月11日の大震災の時には、一寺小学校が緊急避難場所になり、帰宅難民になってしまった人が集まり始めた8時頃から12時過ぎまで、防災拠点会議の副本部長として一寺小に待機していた。

「何かしないのか？」という声が上がリ、南町会の班長さん5人が歩いて募金を募った。

たくさんのお金が集まり「深く感謝しています。」とおっしゃる。どちらかという口重。相手の言葉に耳を傾けるタイプ。ハッピー姿がよく似合う、高木神社の氏子総代です。

3月某日 (聞き手：高)

ホームページ開設のお知らせ

一言会のホームページを開設します。

会の活動内容の紹介や、進行中のプロジェクトのご報告・呼掛けのみならず、地域情報や、各町会の紹介なども次々とアップしていく予定です。↓↓乞うご期待！！

<http://hitokotokai.com/>

こどもたちといっしょに防災学習
イザ！カエルキャラバン！in東京vol.3-寺島を開催しました。

二〇一〇年十月三日、昨年に引き続き、子どもたちと一緒に地域防災を学ぶイベント「イザ！カエルキャラバン」を開催しました。

今年も、一寺小が耐震改修工事の真っ最中で、校庭が使えなかったため、まち中の場所を活用して実施しようと、てらじま広場や墨田川高校の西門前のスペースなどを検討し、子どもたちの安全性を考えた結果、地蔵坂通り商店街が通行止めとなる「ぱっさり市」と併せて開催しました。

昨年に引き続き、墨田川高校の生徒さんや、PTAの皆さん、町会関係者、墨田区、消防団、大学生のみならず、多くの方々の協力を戴き、当日は約100名の参加者で盛況でした。

昨年比べ、3倍以上の方が地蔵坂通りに集まり、ある参加者は、「昔の商店街にぎわいが戻ってきたみたいだ」と目を細めていました。



おともこどもも必死な形相！「天水尊からバケツリレーゲーム」

→ベビーカーのゴンドも興味津々。「水消火器で的あてゲーム」



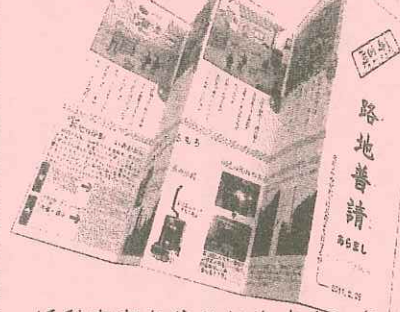
三月十一日、都内で同様の活動をしている地域団体が一同に介するシンポジウムがアーツ千代田3331(末広町)にて開かれ、一言会から事務局員3名が参加致しました。

その最中の出来事で、辺りは大変な騒動となり、地震災害に対する備えの大切さを改めて認識させられました。

「行き止り路地の通り抜け化」改めるじぶしん
路地普請プロジェクト
本格始動！！

「普請」という言葉は聞き慣れない方もいらっしゃるかもしれませんが、茅葺き屋根の葺き替え作業「屋根普請」で使われるように、お互いの精神で、地域にとって必要なものを共同で作っていきこうといった意味です。

今回の大地震で、一言地区内でも塀が傾いたり、瓦が落ちたりした所もありました。いざという時は避難路としての機能も果たす路地を、危険性のあるものをなるべく少なくし、安全で心地よい場にしていこうという取り組みです。



活動内容を分かりやすくしたパンフレットを作成しました。ご賛同いただける方を募集しており、随時アンケート調査も行っていきます。ご協力よろしくお願ひします。

- 一言地区内のマンション計画との協議
- ☆10月7日理事会
 - 「アイディ押し(仮)」(東向島1)
 - S、投資型ワンルームマンション
 - Y、投資型ワンルームマンションは近隣や地域とのトラブルが多く反対する。
 - Y、押上地域でないのに「押し」を称するのは誤解を招く。→「アイディ東向島」と変更
 - 「坂井メゾン」(東向島2)
 - S、一括借り上げ型賃貸マンション
 - Y、隣地との隙間を十分にとり、災害時に通り抜けられるように配慮してもらいたい。
 - ☆1月20日理事会
 - 「高島マンション」(堤通1)
 - S、施主居住型賃貸マンション
 - Y、墨堤の桜並木を意識した意匠・修景をお願いしたい。
- ※一言会には、墨田区認定のまちづくり団体として、一定規模以上の集合住宅に対して、まちの将来に好ましい計画となるよう要望を行う仕事があります。Yは要望事項、Sは種別

まちがどニュース

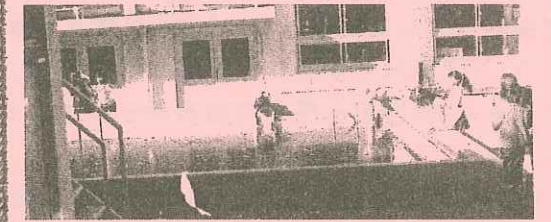
花園保育園 新園舎完成

一年間大宮湯跡地の仮園舎で過ごしていた花園保育園の新園舎が完成しました。屋上に太陽光発電の設備が設けられた新園舎では、元気に遊ぶ子供達の笑顔に満ちていました。



わーい 氷であそぼ

この冬、4回も言問小のプールの全面に氷が張り、子どもたちは大喜びで遊びました。昨年夏は異常高温でしたが、街の古老によれば「夏は暑く、冬は寒い。これが正しいんじゃない」とのこと。先輩は強い。



スカイツリー634mに

東日本大地震の余震が続く中、3月18日午後1時34分、東京スカイツリーの高さが634mとなりました。心配された、地震による被害はなかったようです。

